

# クラブ・リーダーシップ・ プラン(CLP) 導入ガイダンス

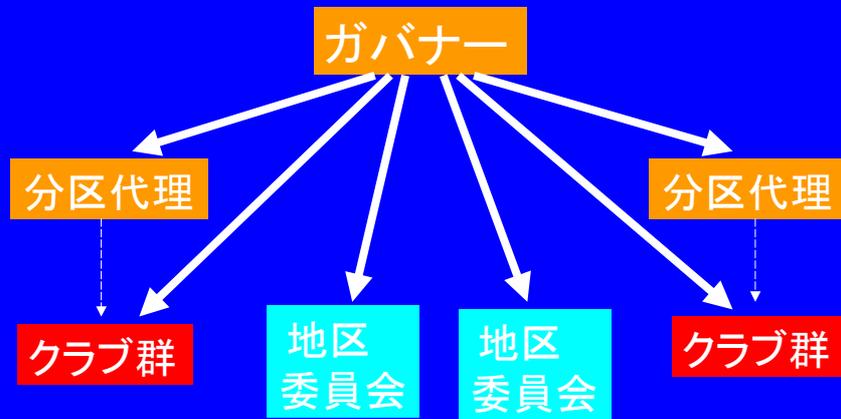
国際ロータリー第2840地区  
2007-08年度 管理運営委員会  
委員長 本田 博己(前橋RC)

## 1. 地区リーダーシップ・ プラン

District Leadership Plan : **DLP**

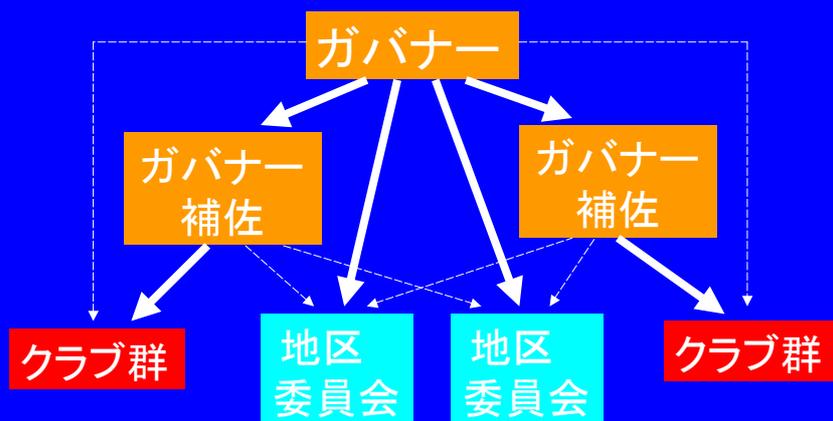
(RID2680 田中 毅PDG研修資料より)

## 従来の地区管理



分区代理は非公式なクラブ管理

## DLPによる地区管理



ガバナー補佐は、担当のクラブに対して  
公式にガバナーの補佐業務を行う

## DLPの目的

- 効果的な地区組織編制とその組織活用により、ガバナーの任務をより効果的に果たす。
- 地区内のコミュニケーションをより円滑化する。
- **クラブの活性化のため、地区内各クラブを支援する。**
- 地区内の人材を発掘し養成する。

## DLP採用までの経過

- 1987年 長期計画委員会設置
- 1993年 試験的プログラム 12地区参加
- 1996年 RI理事会がDLP採択
- 1997年 DLP実施 (任意参加)
- 2001年 RI細則上にDLP採用を規定
- **2002年 すべての地区で  
DLPの採用義務化**

## DLPの具体的な実施計画

- 地区のニーズに基づいたガバナー補佐の任命。4～8クラブを担当。
  - \* 2840地区は **8グループ**に再編
- ガバナー補佐の研修
- 委員会構成の見直し
  - 委員会の新設と統廃合。従来の委員会構成にとらわれない、活動内容による機能的な統合。

## DLPの具体的な実施計画

- ガバナー、ガバナー補佐、地区委員会の任務と責任の確定
- ガバナー、ガバナー補佐、地区委員会間の相互連絡調整
- ガバナー補佐による指導力の継続性
  - 3年までの留任可能
- 地区委員会の継続性
  - 3年任期の任命を推奨

## ガバナー補佐の クラブに対する任務

- クラブ目標について協議し支援する。
- 公式訪問に関連して行われるクラブ協議会に出席する。
- 四半期に1回、できれば毎月1回クラブを訪問し、クラブ指導者と協議する。
- 公式訪問の日程および計画作成にあたりクラブ指導者を支援する。

## ガバナー補佐の クラブに対する任務

- ガバナーに対してクラブの状況を報告する。
- クラブがガバナーの要請・推奨事項を遂行するように支援する。
- クラブの奉仕プロジェクトに関する活動を見守る。
- 将来の地区指導者を発掘し、育成する。

## 2. クラブ・リーダーシップ・プラン

Club Leadership Plan : CLP

クラブ・リーダーシップ・プラン  
(CLP)は、

2004年11月のRI理事会で決定

- ・地区リーダーシップ・プランの延長計画
- ・目的は、ロータリー・クラブの強化



効果的なクラブへ

## 効果的なクラブの要素



## CLPにおける9ステップの実行策

1. 効果的なクラブの要素に取り組む長期目標を立案する。
2. 「効果的なRCとなるための活動計画の指標」を活用し、クラブの長期目標と調和する年次目標を設定する。
3. 計画過程に参加する会員を含めてクラブ協議会を実施し、ロータリーの活動に関する情報を伝える。
4. クラブ役員、クラブ会員、地区指導者の間の明確なコミュニケーション(意思の疎通)を保つ。

5. クラブの指導力と奉仕プロジェクトに**継続性**をもたせる。
6. **クラブ委員会構成**とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく、**クラブ細則に修正**を加える。
7. クラブ会員の**親睦**をさらに深めるような機会を提供する。
8. **会員全員**がクラブのプロジェクトや業務に**活発に関与**するよう計らう。
9. **包括的な研修プラン**を立案する。

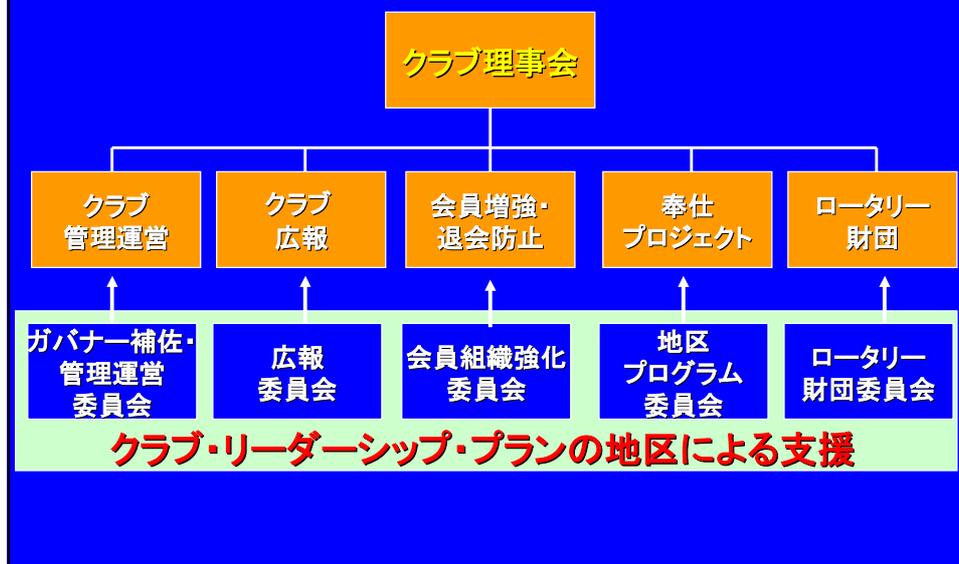
## CLPによる常設委員会構成

新推奨ロータリー・クラブ細則の機能別委員会構成（四大奉仕に基づく4つの常任委員会と14の小委員会 → 5つの常設委員会へ）



\* その他必要に応じて委員会を設けることができる。

## クラブと地区組織



## CLP導入状況についてのアンケート 集計結果 (2007年3月実施)

- A. 導入済み 24クラブ (51%)
- B. 導入準備中・予定あり 16クラブ (34%)
- C. 導入予定なし 7クラブ (15%)

\* 新しい委員会構成を反映したクラブ細則の変更をもって「導入」とする。

### 導入準備中のクラブの予定

2007年7月より実施 6      2007-08年度中 7  
2008年度以降 3

→2007年7月：CLP導入クラブ **30クラブ**に (64%)

## CLP導入状況についてのアンケート集計結果

〈導入内容〉（導入済みと答えたクラブ）

①長期計画の立案	4
②年間目標の設定	5
③クラブ協議会	10
④意思疎通	6
⑤継続性の確保	6
⑥委員会構成とクラブ細則の変更	19
⑦親睦の機会	8
⑧奉仕プロジェクト・委員会活動への積極的参加	11
⑨包括的な研修企画	3

## 包括的な研修企画とは

- ・新会員のための一貫したオリエンテーションを定期的を実施する。
- ・現会員のための継続的教育の機会を提供する。
- ・クラブ指導者が地区研修会合に出席する。

## クラブ活性化のための 特別委員会設置のお勧め

- クラブの現状把握と問題点の抽出
- 理想のクラブ像 → 「理想的クラブの条件案」
- 理想と現状のギャップを埋めてゆくための  
長期計画と年度目標の策定
- 会員満足向上活動の推進



クラブの活性化

## 理想的ロータリークラブの条件案

RI 第2期クラブ強化推進委員会 2005.5.20

### 全般

1. ロータリーの綱領の重要性を理解し、全体をバランスよく実践している。
2. 国際ロータリーのテーマをよく理解している。
3. 地区内のモデル・クラブとして卓越したクラブを目指している。
4. ロータリーにおける全ての活動に会員は意欲的である。
5. ロータリーのバッジをいつも着けている。

### クラブ奉仕ー出席

6. 年間平均90%以上の出席率を目指している。
7. ゲストのためにも、出席率のためにも年間の例会変更を安易に行わない。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### クラブ奉仕－親睦

8. 全会員がロータリーの基本である親睦と奉仕を常に心得ている。
9. 親睦活動が活発で、しかも和やかな雰囲気である。
10. クラブ内に派閥をつくらない。
11. 会員が声を掛け合う(挨拶や名前を呼ぶ)比率が高い。
12. 会員や配偶者の誕生日、結婚記念日を例会で祝う。
13. 会員の配偶者が時々例会に出席したり行事に参加する。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### クラブ奉仕－例会

14. いつも他人から学ぶ姿勢で例会に臨んでいる。
15. 例会中の私語がきわめて少ない。
16. 例会中、お話しの前後に大きく拍手する会員比率が70%以上である。
17. 例会でのクラブ会長の挨拶は、ロータリーに関することに重点におく。
18. 他のクラブをメーキャップした体験を時々クラブで報告している。
19. 例会の卓話に青少年交換学生、財団学友や米山奨学生を招いている。
20. 四大奉仕部門についてそれぞれ年間最低1回は30分のクラブフォーラムを実施している。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### クラブ奉仕—プログラム

21. 全会員が関心を持てるような例会のプログラムを実施している。
22. 例会プログラムや奉仕プログラムはマンネリ化させず、会員のニーズに合わせ前例主義にならない工夫をしている。
23. 「ロータリーの月間」にはそれぞれの具体的なプログラムを行っている。

### クラブ奉仕—会員増強

24. 会員はロータリーの素晴らしさを認識し、退会防止に努め会員増強に熱心である。
25. 新会員勧誘は全会員がグループに分かれて行い、退会防止に全会員がエネルギーを注いでいる。
26. 新会員の入会式を実施し、心から歓迎の意を表している。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### クラブ奉仕—会員組織

27. 会員の年齢で老・壮・青のバランスがとれるよう努めている。
28. 会員の多様性を認める(人種、宗教、職業別、年齢別、性別、考え方、価値観、等)
29. 近い将来に女性会員が全会員の10%以上(世界の現状では12.5%です)になるよう常に努力をしている。

### クラブ奉仕—新会員教育

30. 新会員にロータリーの基本や歴史について話し合う会合を持つ。
31. 新会員教育の3ヵ年計画を持っている(新会員に3ヵ年の教育計画を入会時に明示する)。
32. 新会員教育を年間最低6回以上実施している。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### クラブ奉仕ーロータリー情報

33. ロータリー情報が少なくとも4分以上毎例会に提供されている。

### クラブ奉仕ー雑誌・会報

34. 雑誌委員会は月に1回以上、例会で「ロータリーの友」の内容と感想を報告している。
35. クラブの歴史の節目に「クラブ史」を編纂している。

### クラブ奉仕ー広報

36. ロータリーのイメージアップと地域へのPRに全会員が力を注いでいる。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### クラブ奉仕ー会合

37. それぞれの委員会が活発に活動し、活動後に反省会が行われている。
38. クラブ理事会の報告は毎月実施されている。
39. クラブの委員会報告が例会で常に活発にされている。
40. 国際大会・地区大会・IM その他の行事への積極的参加を目指している。
41. 地区セミナーや国際大会参加者が参加後2週間以内に例会で15分以上報告している。
42. 地区レベルやクラブを超えた行事のホストを積極的に引き受ける。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### クラブ奉仕－指導者

43. クラブや地区の将来を見据えた広い視野からクラブ会長を選んでいる。
44. クラブを超えて将来活躍できる人を育てる努力をしている。
45. 地区委員など積極的にクラブから選出し、委員を支えている。

### クラブ奉仕－財務

46. クラブ活動資金と運営資金を明確に分けている。
47. クラブの財務で赤字を作らない。
48. 年会費以外にはできる限り例会でロータリー関係以外の資金を集めないよう努力している。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### クラブ奉仕－運営

49. クラブの発展を図るため長期計画(3-5年)を立て、毎年更新している。
50. クラブ運営について、まず棚卸を行い、反省と改善が常に実施されている。
51. 「クラブ活カテスト」を年一回実施し、理事会が対策を検討している。
52. 「クラブ会員満足度アンケート」調査を年一回行なっている。
53. 全会員が自分のクラブの良き伝統や個性を自覚し、それを発展させている。
54. インターネットやメールを活用する。しかし、印刷物やFAXを希望する会員への配慮もされている。
55. 政治的問題は例会中には一切触れない。
56. 会員および家族の個人情報の保護に努めている。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### 職業奉仕

57. 職場や地域社会で職業倫理を高めるためのクラブ活動や議論が行われている。
58. 全会員は「四つのテスト」を暗唱し、これを実行している。

### 社会奉仕

59. 思いやりの心を持ち他人や社会のために尽くすこと(奉仕の理想)を理解している。
60. 地域社会のニーズを的確に捉え、地域社会に対する奉仕とそのPRの機会を逃さない。
61. 例会の卓話に地域の顕著な活動実践者を招き、地域のニーズを知る。
62. 奉仕プロジェクトは綿密に計画し、実施後必ず評価を行っている。
63. RAC、IACの少なくとも一つをスポンサーしている。

## 理想的ロータリークラブの条件案

### 国際奉仕

64. 会員はロータリー財団のプログラムと寄付の重要性を認識している。
65. WCS、ポリオ、保健問題、教育など人道的/教育的プログラムをクラブで討議し、挑戦しようとしている。
66. 財団の年次寄付は全会員が少なくとも年間100ドル以上行っている。
67. 各種奨学生、GSEなどのお世話をし、国際親善に参加する積極性・受容性がある。
68. 国内外の姉妹クラブを持ち、交流を定期的に行う。
69. 米山財団への寄付はその趣旨をよく理解し、積極的に取り組んでいる。

# クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP)

## よく尋ねられる質問 Q & A

国際ロータリーのホームページ(日本語)より  
編集:2007-08年度 2840地区 管理運営委員会

### Q1. クラブ・リーダーシップ・プラン とは何ですか。

クラブ・リーダーシップ・プラン(以下CLP)とはロータリークラブに推奨される管理構成であり、過去100年に世界中から寄せられた効果的なロータリークラブの最善の実践方法に基づいて作成された運営手続きを含んでいます。CLPは、意思決定の際に会員の合意を得ること、クラブのリーダーシップとプロジェクト管理の継続性を保つこと、奉仕・親睦・研修においてすべての会員が参加することを強調しています。

## Q2. ローターリーにはなぜCLPが 必要なのですか。

- 毎年、すべてのレベルにおいてロータリーの指導者は交替します。ロータリー指導者は多くの時間を捧げているボランティアです。
- 標準化された管理運営構成をロータリークラブが持つことにより、クラブの指導者は、管理運営よりも奉仕活動に、その努力を集中することができるようになります。さらに、CLPの下では、計画の引継ぎや継続性の維持もより良く行うことができます。

## Q3. CLPは義務づけられている のですか。

- いいえ。CLPの目標は、ロータリークラブが必要に応じて応用することのできる、既に効果が実証されている方法を提供することによって、ロータリークラブの充実化を図ることです。すべてのクラブはプランを検討し、クラブを改善するのに役立つと思われる部分を採用すべきです。

## Q4. クラブは、現在の構成から新しい構成へ、どのように移行すればよいのでしょうか。

- ロータリー年度開始の少なくとも6か月前に、クラブはCLPへどのように移行するかを検討し始める必要があります。移行は、新しい「推奨ロータリークラブ細則」をそのまま採用し、CLPを全面的に施行するか、もしくはプランからクラブが充実すると思われる部分のみを採用することなどが考えられます。ロータリークラブは自治権があり、二つとしておなじクラブはありませんので、自分のクラブはどのような変更が必要で、どのようなスケジュールが適切であるかを各クラブで判断しなければなりません。

## Q5. 四大奉仕部門はどのような役割を果たしていますか。

- CLPの下でも、クラブの奉仕活動がバランス良く保たれ、ロータリーの綱領のすべてを実現すべく、四大奉仕部門(クラブ・職業・社会・国際)は、ロータリーの活動の中心を成しています。四大奉仕部門は、ロータリークラブが、ロータリーの第一の目的「超我の奉仕」に主眼を置き続けるためのものです。クラブは、奉仕の各部門を取り上げた年次目標を設定すべきです。クラブの運営上の必要事項は5つの常設委員会(クラブ管理運営、クラブ広報、会員増強・退会防止、奉仕プロジェクト、ロータリー財団)が取り組むこととなります。

## Q6. 奉仕プロジェクト委員会は社会・職業・国際奉仕のすべてを網羅しなければならないため、負担が大きすぎるのではないですか。

- クラブは、奉仕プロジェクト委員会の下に小委員会を追加することができます。奉仕プロジェクト委員会がこれらの小委員会の活動を監督し、小委員会が活動の重複を避けながら、特定のプロジェクト目標を追求していくことができるよう調整します。

## Q7. ロータリー財団委員会は何を するのですか。

- ロータリー財団委員会は、財団プログラムにクラブが参加するよう促し、これらのプログラムを支援する資金を提供するために活動します。2003-04年度、ロータリー財団は、ロータリーの綱領を支えるために、8,500万USD以上を、人道的、教育的、ポリオプラス補助金に授与しました。クラブレベルの委員会は、クラブの奉仕活動を支援するために、これらの補助金を確保します。

## Q8. CLPは、異なる規模のクラブにどのように適用させることができますか。

- ロータリークラブの規模は、20名未満のメンバーから200名を超えるクラブまで、様々です。継続性、見解の統一、全会員の参加というCLPの主眼は、あらゆる規模のロータリークラブにとって有用です。クラブは、各自のニーズに応じて推奨委員会構成を採用することができます。小規模のクラブは、まず5つの基本的な委員会から始め、必要に応じて委員会を追加することができます。大規模のクラブは、自らの奉仕目標に適い、全会員が参加することができるよう、委員会を追加したり、小委員会を創設することができます。

## Q9. 私たちのクラブは、結成からまだ2年しか経っていません。なぜCLPを採用すべきなのですか。

- CLPは、過去100年間にロータリーが蓄積してきた効果的なロータリークラブの最善の実践方法を反映させたものであることを、すべてのクラブは認識する必要があります。新しいクラブは、CLPに含まれている運営手続きを実施することによって、既存のロータリークラブの経験から恩恵を受けることができるのです。

## Q10. CLPを支えるために利用できる支援源には、どのようなものがありますか。

- 会長エレクト研修セミナー(PETS)で全ロータリークラブ会長エレクトに配布される小冊子「クラブ・リーダーシップ・プラン」には、CLPの方針、実施段階と方策、実施の推奨タイムスケジュールといった内容が含まれています。RIウェブサイトから、CLP関係資料、「推奨ロータリークラブ細則」、目標設定のための資料である「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」をダウンロードすることができます。
- 地区レベルでは、地区ガバナーとガバナー補佐がCLPの施行を援助し、5つの常設委員会と対応する地区委員会が、クラブ委員会の活動を支援し、資源を分かち合うよう確認します。

## CLPを考慮に入れた 委員会構成例

## 鈴鹿西RC（2630地区）の組織概念図

総会・定足数の出席する任意の例会



\* 鈴鹿西RC会員数 51名(06年3月末現在)

## 鈴鹿西RCの委員会構成

<常任委員会>	<小委員会>
会員維持増強	* 職業分類 * 会員増強 * 会員選考 * ロータリー情報
クラブ管理運営	* 例会プログラム * 出席 * 親睦・家族 * SAA
クラブ広報	* 広報 * クラブ会報 * 雑誌 * クラブホームページ
ロータリー財団	* 寄付増進 * 財団プログラム * ホリオ・プラス * 米山奨学生
奉仕プロジェクト	* 職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の9プロジェクト(会員全員が委員)

## CLPに基づくクラブの委員会構成 2680地区(兵庫)試案

### 大規模クラブ(60名以上)

#### <常任委員会>

クラブ運営委員会

会員組織委員会

広報委員会

職業奉仕委員会

社会奉仕委員会

国際奉仕委員会

ローリー財団委員会

#### <小委員会>

—— \*例会運営 \*規定 \*親睦活動

—— \*会員増強 \*会員研修

—— \*広報 \*クラブ会報 \*インターネット

—— \*社会奉仕  
\*新世代奉仕(IA・RA・青少年交換)

—— \*世界社会奉仕 \*米山奨学  
\*国際交流

## CLPに基づくクラブの委員会構成 2680地区(兵庫)試案

### 中規模クラブ(30名~60名)

#### <常任委員会>

クラブ運営委員会

会員組織委員会

職業奉仕委員会

社会奉仕委員会

国際奉仕委員会

#### <小委員会>

—— \*例会運営 \*規定 \*親睦活動  
\*クラブ会報 \*広報

—— \*会員増強 \*会員研修

—— \*社会奉仕  
\*新世代奉仕(IA・RA・青少年交換)

—— \*世界社会奉仕 \*米山奨学  
\*ローリー財団

## CLPに基づくクラブの委員会構成 2680地区(兵庫)試案

### 小規模クラブ(30名以下)

<常任委員会>		<小委員会>
クラブ運営委員会	——	* 例会運営 * 親睦活動 * 会報・広報
会員組織委員会	——	* 会員増強 * 会員研修
奉仕活動委員会	——	* 職業奉仕 * 社会奉仕 * 国際奉仕

(田中 毅PDGのHP『ローターの源流』「炉辺談話308」より)

## 前橋RCの委員会構成 試案

前橋RC 21世紀委員会提案 06年6月

<常設部門>		<委員会>
会員組織強化	——	* 会員増強・職業分類 * 会員選考 * ローター情報
クラブ広報	——	* 広報 * ローターの友 * クラブ週報 * IT・記録保存
クラブ管理運営	——	* 出席 * 親睦活動 * プログラム * ニコニコBox * 健康管理
職業奉仕・奉仕理念	——	* 職業奉仕 * 奉仕理念
社会奉仕プロジェクト	——	* 地域社会奉仕 * 奉仕開発 * 新世代奉仕(RA・IA担当)
国際奉仕プロジェクト	——	* 国際奉仕 * ローター財団
奨学事業	——	* 米山奨学 * 前橋RC国際奨学

\* その他必要に応じて年度単位で特別委員会を設置する。

前橋ロータリークラブ 役員・委員会構成 21世紀委員会 試案

理事・役員			
役職	担当	役職	担当
会長		直前会長	
会長エレクト	会員組織強化	理事1	クラブ広報
副会長	クラブ管理運営	理事2	職業奉仕・奉仕理念
幹事・副幹事		理事3	社会奉仕プロジェクト
会計(正・副)		理事4	国際奉仕プロジェクト
SAA(正・副)		理事5	奨学事業
会計監査人		理事6	特別委員会
常設部門			
会員組織強化部門		担当役員:会長エレクト	
会員増強・職業分類委員会		会員選考委員会	
ロータリー情報委員会			
クラブ広報部門		担当理事:理事1	
広報委員会		ロータリーの友委員会	
クラブ週報委員会		IT・記録保存委員会	
クラブ管理運営部門		担当役員:副会長	
出席委員会	親睦活動委員会	プログラム委員会	
ニコニコBOX委員会	健康管理委員会		
職業奉仕・奉仕理念部門		担当理事:理事2	
職業奉仕委員会		奉仕理念委員会	
社会奉仕プロジェクト部門		担当理事:理事3	
地域社会奉仕委員会		新世代奉仕委員会(RA・IA担当)	
奉仕開発委員会			
国際奉仕プロジェクト部門		担当理事:理事4	
国際奉仕委員会		ロータリー財団委員会	
奨学事業部門		担当理事:理事5	
米山奨学委員会		前橋RC国際奨学委員会	
特別委員会		担当理事:理事6	
予算委員会			
合唱を聴く会実行委員会		(写生大会実行委員会)	

## 実際の前橋RCの委員会構成

前橋RC 2007-08年度

- 会員組織**(クラブ奉仕A) —— \* 会員増強 \* 会員選考  
 \* R情報・雑誌 \* 広報
- 管理運営**(クラブ奉仕B) —— \* 出席・記録 \* クラブ会報  
 \* 親睦・家族 \* プログラム  
 \* 健康管理 \* ニコニコBox
- 奉仕プロジェクトA** —— \* 職業奉仕
- 奉仕プロジェクトB** —— \* 社会奉仕
- 奉仕プロジェクトC** —— \* 新世代奉仕 \* RA \* IA
- 国際奉仕** —— \* 国際奉仕 \* R財団 \* 米山

## 委員会再編のポイント

1. 「四大奉仕部門」や「機能別分類」による委員会構成では埋もれがちで、ロータリー理念の追求や奉仕の実践に資する委員会新設の検討。
2. 常設委員会と特別委員会・実行委員会の位置付けおよび弾力的運用。
3. 委員会活動や組織運営の継続性の確保、および理事会と委員会の連携強化。

## CLP まとめ

- CLPは手段であり、目的ではない。
- CLPのねらいは、クラブの体質強化、クラブの活性化。
- クラブ細則は、RIや定款に抵触しない範囲で自由に制定できる。クラブ細則の改定は、透明性・納得性の高い運営に切り替えるチャンス。
- クラブ・リーダーを中心にした年度を超えた継続的な取り組みが大切。
- 真摯なクラブ自己評価と、会員満足を向上させる活動を推進することが成功の鍵。

### 3. クラブ細則改定について

国際ロータリー・地区・クラブ・ロータリアンが遵守すべきロータリーの組織規定は、以下の3つ。

- 国際ロータリー定款
- 国際ロータリー細則
- 標準ロータリークラブ定款  
= RI 加盟クラブは、必ず採用しなければならない。

クラブ細則は、クラブを円滑に運営するための、各クラブ個別の具体的な規約

● **推奨ロータリークラブ細則**

= 本規則は単に推奨されるにすぎない。  
従ってRCは、クラブ定款および国際ロータリーの定款・細則と矛盾しない限り、クラブ自身の事情に応じて変更することができる。

**なぜクラブ細則を改定する必要があるのか**

- ロータリークラブは、クラブ定款とクラブ細則に基づいて運営される。(運営のルール)  
しかし、実際は、細則が実態と遊離し、慣例や前例に従った運営に陥っている。
- クラブ細則は、クラブの実態に合わせて定期的に見直す必要がある。  
(公正で透明性の高い運営)
- 組織体制が改まる毎年度替わりに改定することが望ましい。
- **クラブ細則改定は、会長E・幹事Eの責務。**

## クラブ細則改定のポイント

1. 理事・役員の役割の明確化と理事会機能の強化（→第2条 理事会）
2. 理事・役員の選出方法として、指名委員会方式を明文化  
（→第3条 理事および役員の選出）
3. 奉仕理念と四大奉仕部門の位置づけの整理（→第8条 四大奉仕部門）
4. CLPを参考に、委員会構成を再編  
（→第9条 委員会）
5. 各委員会の任務の明示  
（→第10条 各委員会の任務）

## 標準RC定款への四大奉仕部門明文化（規定審議会2007）

制定案 07-29 修正採択

標準ロータリー・クラブ定款に四大奉仕部門を含める件

提案者： RI 理事会

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する。

第 5 条 四大奉仕部門 ロータリーの四大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの業務の哲学的小よび実務的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動である。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つ。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。
3. ロータリーの第三奉仕部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を向上させるために、時には、他の人々と提携してロータリアンが行うさまざまな活動から成る。
4. ロータリーの第四奉仕部門である国際奉仕は、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成る。このような推進は、読書や文通、さらには、他国の人々を助けるクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化、慣習、業績、願望、問題に対する認識を培うことによって行われる。

## 4. クラブ活性化のための支援源

2840地区のホームページ <http://www.rid2840.jp/home.html>

2840地区 横山 公一 ガバナー事務所	2840地区 ロータリークラブ一覧
2840地区 過去の年度のホームページ	リンク
	書庫
新入会員・出席報告	

MAIL

横山年度ページ <http://www.rid2840.jp/yokoyama/index.html>

国際ロータリー第2840地区 2007-2008年度

 **横山 公一ガバナー事務所**

← TOP

ガバナーメッセージ | ガバナー月信 | 2840地区概要 | 地区大会報告 | セミナー報告 | **クラブ組織強化支援ツール**

ガバナー事務所ご案内  
卓話・研修出席サービス

**What's New**  
2007年7月1日 **New**  
月信7月（創刊）号をアップしました。  
横山公一ガバナー事務所公式ホームページ開設しました。

クラブ組織強化支援ツール <http://www.rid2840.jp/yokoyama/help/index.html>

国際ロータリー第2840地区 2007-2008年度

 **横山 公一ガバナー事務所**

← 横山 公一ガバナー TOP

ガバナーメッセージ | ガバナー月信 | 2840地区概要 | 地区大会報告 | セミナー報告 | **クラブ組織強化支援ツール**

**支援ツール**  
さまざまなクラブ支援ツールがダウンロードできます。  
大きく表示されない場合はゲストログインなどに保存してからご覧ください。  
ワード形式のファイルはダウンロード後に編集が可能です。

- クラブ組織強化の手引き
- 会員満足度アンケート（地区版/2005年度作成）
- 会員満足度アンケート 実施の手引き
- クラブスカスタ（2005～2006年度版）
- クラブ活カテスト 適用の手引き
- クラブ活カテスト 評点集計表
- 理想的ロータリー・クラブの条件案（Riクラブ強化推進委員会2005.5）
- クラブ・リーダーシップ・プラン について
- 標準ロータリー・クラブ編制（CLPIに基づく）
- 地区リーダーシップ・プランとクラブ・リーダーシップ・プラン（PPT配布資料）
- クラブ・リーダーシップ・プラン（ノート）
- クラブ委員会および小委員会の編制（クラブ会長要覧より）
- 前橋RC クラブ・会員の理想像
- 前橋RCにおける会員満足向上活動（会員満足度アンケート 結果分析）
- クラブ改革提言 前橋RC21世紀委員会 第1期報告書2004.6
- クラブ改革提言III 前橋RC21世紀委員会 PARTIII報告書2006.6

2840地区のホームページ <http://www.rid2840.jp/home.html>

2840地区 横山 公一 ガバナー事務所	2840地区 ロータリークラブ一覧
2840地区 過去の年度のホームページ	リンク
	書庫
新入会員・出席報告	

MAIL

RIの日本語ページ <http://www.rotary.org/languages/japanese/>

6月17日-21日にソルトレイクシティで開催される2007年国際大会にぜひご参加ください。今すぐオンラインでご登録を。

6月17日-21日にソルトレイクシティで開催される2007年国際大会にぜひご参加ください。今すぐオンラインでご登録を。

2007年RI国際大会

ロータリーは、永遠の贈り物。すなわちポリオのない世界をすべての子供たちに与えることのできる自由心持をしています。ポリオ撲滅との闘いを共に紹介します。

2007年RI国際大会にオンラインで登録しましょう。10月31日までに登録された方には、限定版のピンを無料で差し上げます。安全で便利なオンライン登録をぜひご利用ください。

RI会長  
ウィリアム S. ボイド RI 会長のホームページをご覧ください。

# RIダウンロード・センター

<http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/index.html>

クラブの所在地検索 連絡先

Rotary.org > 日本語 > ダウンロード・センター

## ダウンロード・センター

日本語の翻訳に関するお問い合わせは、RI世界本部日本語課までご連絡ください。  
E-mail: [JASection@rotary.org](mailto:JASection@rotary.org)

ロータリーについて | ニュースルーム | 会員身分 | RIプログラム | ロータリー財団 | 行事 | 研修 | クラブ・地区支援 | 100周年記念資料 | 地区大会資料 | 国際ロータリー表彰および賞に関する書式

2006-07 年度 RI テーマのロゴの清刷り

2007-08 年度 RI テーマのロゴの清刷り

## クラブ・地区支援

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>📄 2007-08 年度カタログ [019-JA]</li> <li>📄 手続要覧—2004年 [035-JA]</li> <li>📄 2005-06 年度国際ロータリー年次報告 [187A-JA]</li> <li>📄 2004-05 年度国際ロータリー年次報告 [187A-JA]</li> <li>📄 2003-04 年度国際ロータリー年次報告 [187A-JA]</li> <li>📄 2002-03 年度国際ロータリー年次報告 [187A-JA]</li> <li>📄 ウェブでロータリーを推進 [271-JA]</li> <li>📄 地区大会の手引き [800-JA]</li> <li>📄 クラブ訪問報告用紙 [861-JA]</li> <li>📄 効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標 [862-JA]</li> <li>📄 2006-07 年度 RI テーマ資料 [900-06JA]</li> <li>📄 2006-07 年度 会長賞要項 [900A-06JA]</li> <li>📄 2006-07 年度 会長賞申込書 [900B-06JA]</li> <li>📄 2007-08 年度 RI テーマ資料 [900-07JA]</li> <li>📄 会長賞要項 [900A-07JA]</li> <li>📄 会長賞申込書 [900B-07JA]</li> <li>📄 国際ロータリー 2004 年規定審議会 決議報告</li> <li>📄 2004年国際ロータリー規定審議会で審議される立<br/>法案 第一巻 04-01 から04-427</li> <li>📄 地区再編成提案書</li> <li>📄 地区再編成提案書</li> <li>📄 クラブ・リーダーシップ・プランを施行してロータリー・クラブの強化を図る</li> <li>📄 クラブ・リーダーシップ・プラン</li> <li>📄 年度クラブ会長および幹事のための参考資料</li> <li>📄 言語リスト</li> <li>📄 職業コード</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>📄 ロータリー憲典</li> <li>📄 手続要覧—アンケート</li> <li>📄 公式名簿用の資料</li> <li>📄 新会員半期報告書式 - (SAR)</li> <li>📄 半期報告書式 (SAR)</li> <li>📄 半期報告書(SAR)に関する説明</li> <li>📄 「よく尋ねられる質問」半期報告徴収周期の変更 (SAR)</li> <li>📄 国際ロータリーの徴収周期</li> <li>📄 標準ロータリー・クラブ定款</li> <li>📄 推奨ロータリー・クラブ細則</li> <li>📄 地区の任命</li> <li>📄 理事会決定事項の抄録</li> <li>📄 クラブおよび地区に関連する 重要な理事会決議の要約</li> <li>📄 災害救済ガイド</li> <li>📄 RI の徽章および指針</li> <li>📄 徽章の使用および指針、補遺 H — 1998 年 10 月 理事会の決定事項</li> <li>📄 サイバークラブの試験的プロジェクトに参加するための推薦書</li> <li>📄 クラブ役員キット</li> <li>📄 クラブ委員会の権限</li> <li>📄 経費明細報告書</li> <li>📄 経費明細報告書</li> <li>📄 経費明細報告書の提出に関する指針 ボランティアと職員用</li> <li>📄 2006-07 年度自動車交通費払戻しシート(マイル)</li> <li>📄 受領者となるロータリアン情報書式</li> <li>📄 受領者となるロータリアン情報書式</li> <li>📄 配偶者の非済可能な活動</li> <li>📄 RI例会頻度試験的プログラム 参加申請書式</li> <li>📄 例会頻度試験的プロジェクト計画</li> </ul> |
|---|--|

クラブ・リーダーシップ・  
プラン  
導入ガイダンス

完

2007. 7  
2007-08年度 国際ロータリー第2840地区  
管理運営委員会